

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称：	ピッコリーノ保育園	種別：	認可保育園	
代表者氏名：	園長 新美 敦子	定員（利用人数）：	48（48）名	
所在地：	224-0003 神奈川県横浜市都筑区中川中央1丁目17-18			
TEL：	045-913-1188	ホームページ：	http://piccolino.jp/	
【施設・事業所の概要】				
開設年月日	2015年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：	株式会社ピエロタ			
職員数	常勤職員：	16名	非常勤職員：	7名
専門職員	保育士	19名	栄養士	2名
	看護師	1名	調理員	2名
			子育て支援員	2名
施設・設備の概要	居室数：	保育室3室、調理室、事務室、面談休憩室		
	設備等：	園庭、駐車場、駐輪場、ピロティ		

③理念・基本方針

私たちは、幼い子供たちにとって、家庭的な愛情あふれる環境がなにより大切だと思っています。そのため、施設というより居間のような家庭的な雰囲気の中で、まるで兄弟姉妹のようにお友達と過ごし、よく遊び、よく食べ、よく学ぶ、園児ひとりひとりに配慮のゆき届く、少人数保育・教育を実践しています。

保育の理念・保育方針は、「感性と創造」「愛情と自然」「親子の絆」の3つのテーマを理想の保育の大切な柱にして活動しています。子供たちが心に感じる力（感性）を培う創造性にあふれた空間作り、園児ひとりひとりに愛情をもって接し、自然の中であそび、自然に親しむ活動、親子の絆、保育士との信頼関係を大切にしています。そしてまたそれらは、保育園という集団生活の中で基本的な生活習慣の確立とともに獲得されていくものと考えています。

④施設・事業所の特徴的な取組

園は、0～2歳児を受け入れる乳児保育園で、2015年4月に開設されました。
横浜市営地下鉄ブルーライン「センター北」駅より徒歩で5分ほどの高架下にあり、雨天時も遊ぶことのできる広い園庭があります。園舎内は、振動などもなく、高架下にあることを感じさせない、ゆったりと過ごせる空間となっています。
当園の系列園には、3～5歳児を受け入れる幼保園と学童クラブがあり、当園を卒園した後は幼保園に入園する園児も多く、兄弟姉妹が各園に通うケースの場合には、どちらかの園で登降園を行えるよう園バスを行き来させて、園児を送迎しています。行事なども合同で開催するなど、連携を図り、保育の継続性に配慮しています。
園の周辺には、横浜市歴史博物館や大塚遺跡公園、緑道沿いの公園などがあり、自然に恵まれた環境となっています。天気の良い日は積極的に散歩に出かけ、子どもたちは、四季の移り変わりを全身で感じながら、自然の中で思い切り遊び、地域と触れ合う中で、小さな社会体験を積み重ねながら、成長しています。
専門講師による音楽活動や造形活動、体育活動を取り入れたり、専門家のボランティアによるうたの会や演奏会を開催したり、子どもたちがさまざまな体験ができるようにしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年7月4日（契約日）～ 2023年1月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2016年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆子ども一人ひとりに寄り添ったていねいな保育を実践しています

職員は、子どもが発する「つぶやき」を大切に子どもの思いをくみ取り、状況に応じた保育実践を心がけています。園内研修の年間テーマを「子どものつぶやきをひろう」と設定し、日々の保育を行う中で職員個々が遭遇した「つぶやき」を職員相互で伝え合い、子ども一人ひとりに対する理解度を深めながら、保育実践の振り返りにつなげるなどしています。また、こうした研修を通して子どもを観察する力を高めるなど、職員個々のスキルアップや意欲向上にもつなげています。子どもの状況やクラスの様子は、週3回のミーティングで報告し合い、クラスを超えて情報を共有して一人ひとりの子どもに寄り添ったていねいな保育の実践につなげています。

◆職員間で連携を図りながら、保育活動の内容を充実させています

園では、年齢に応じて専門講師による音楽活動や造形活動、体育活動を取り入れて、子どもたちが感性と創造性を育てるよう、環境づくりを行っています。自然に恵まれた環境を生かして戸外活動を積極的に取り入れているほか、全天候型の広い園庭で思い切り体を動かして遊べるようにしています。職員間で連携を図り、異年齢保育も取り入れて、アットホームな環境の中で子どもたちが年下の子どもを思いやる心をはぐくめるようにしています。看護師や栄養士とも協力し合って、保健指導や食育活動の内容を工夫しており、子どもたちがさまざまな経験を積み重ねながら、成長できるようにしており、園全体で連携を図り、保育内容を充実させています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

監査後の第三者評価だったので、監査の意図した内容と第三者評価が意図した内容の掘り下げ方の違いも必然的に理解できた思いです。ご指摘いただいた内容・評価は、見事にその通りなので、真摯に受け止め次のステップにコマを進めていきたいと思っています。今回の第三者評価を経て若手の職員に意欲が芽生えていることを強く感じました。コロナ後の時流の変化にも充分適応出来るように、ご指摘いただいた園独自のマニュアル、全職員の共通理解、次に目指すものを明確にしていきたいと思います。この度はありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり